

当金庫のあゆみ

大牟田信用金庫のあゆみ

- 大正 6年 5月 三川信用購買組合設立
事務所を三川町役場内に設置
- 大正14年12月 信用組合に改組し、三池港信用組合へ改称
- 昭和 2年 5月 事務所を三川町に移転
- 昭和14年 4月 事務所を諏訪町に移転
- 昭和20年12月 市街地信用組合法による信用組合となる
- 昭和21年10月 大牟田信用組合に改称
- 昭和23年 7月 三川支店を新設
- 昭和25年 4月 中小企業等協同組合法による信用組合となる
- 昭和26年 8月 本店を有明町に新築移転
10月 信用金庫法により大牟田信用金庫に改組
- 昭和31年11月 三川支店を新築移転
- 昭和32年 9月 銀座支店を新設
- 昭和34年12月 高田出張所を新設
- 昭和36年 8月 高田出張所を高田支店に昇格
- 昭和38年12月 本店を新築
- 昭和41年 5月 筑後支店を新設
- 昭和43年12月 通町支店を新設
- 昭和45年 7月 三川支店を新築移転
12月 新栄町支店を新設
- 昭和51年10月 上官支店を新設
- 昭和56年12月 三池支店を新設
- 平成 3年12月 北支店を新設
- 平成 8年 6月 勝立支店を新設
- 平成12年11月 北支店を吉野支店に名称を改め新築移転
- 平成14年 5月 新栄町支店を新築

柳川信用金庫のあゆみ

- 大正15年 7月 柳河町信用組合設立
8月 事務所を柳河町役場内に設置
- 昭和 6年 3月 事務所を中町に移転
- 昭和10年 2月 柳河町信用販売組合に改組
- 昭和12年 7月 事務所を小道具町に新築移転
- 昭和13年 9月 柳河町信用販売購買利用組合に改称
- 昭和19年 3月 柳河町農業会に改組
- 昭和23年 8月 柳河信用組合に改組
- 昭和25年 2月 中小企業等協同組合法による信用組合となる
- 昭和26年 4月 柳川町信用組合に改称
- 昭和27年 4月 柳川信用組合に改称
- 昭和28年 5月 信用金庫法により柳川信用金庫に改組
- 昭和29年 3月 事務所を京町に新築移転
- 昭和33年 7月 大和出張所を新設
- 昭和34年 4月 大和出張所を大和支店に昇格
- 昭和35年 2月 沖端出張所を新設
8月 沖端出張所を新築移転
- 昭和36年 6月 沖端出張所を沖端支店に昇格
11月 大和支店を新築移転
- 昭和40年 6月 瀬高支店を新設
- 昭和42年11月 沖端支店を新築移転
- 昭和51年 8月 蒲池支店を新設
- 昭和58年10月 下百町支店を新設
- 平成 9年 5月 大和支店を新築
- 平成14年12月 瀬高支店を新築移転

大牟田柳川信用金庫のあゆみ

- 平成16年11月 大牟田信用金庫と柳川信用金庫が合併し、大牟田柳川信用金庫としてスタート
- 平成17年 7月 中小企業金融公庫と業務提携・協力に関する覚書を締結
- 平成18年 4月 「投資信託」「変額個人年金保険」の販売を開始
- 平成19年 5月 大牟田柳川信用金庫創立90周年
11月 蒲池支店を新築移転
- 平成20年11月 店舗効率化を図る目的で、上官支店を本店営業部に、下百町支店を柳川営業部に統合
- 平成22年 1月 地域金融円滑化のための基本方針を制定・公表
10月 店舗効率化を図る目的で、銀座支店を新栄町支店に統合
- 平成23年 1月 旧銀座支店に事務部を移転し、事務センターとして開設
- 平成26年 8月 日本政策金融公庫と業務連携・協力に関する覚書を締結
- 平成28年 2月 県内8信用金庫、福岡県信用保証協会及び信金中央金庫との創業支援等に関する業務提携・協力に関する覚書を締結
- 平成29年 2月 沖端支店を筑紫町に新築移転
5月 大牟田柳川信用金庫創立100周年
- 平成30年10月 『創業支援センター』を設立し、同時に日本政策金融公庫と連携した創業支援融資商品「3UP」の取扱開始
- 令和 2年 3月 「しんきん知財コーディネーターズ」の一員として「開放特許実施許諾調印式」に参加
- 令和 2年 7月 大牟田市へ令和2年7月豪雨災害の支援物資の寄贈とボランティアを派遣し、同年11月、災害支援寄付金を寄贈
- 令和 2年 8月 預金量2,000億円達成
- 令和 3年 3月 「九州北部しんきん事業承継ネットワーク」へ参加
- 令和 3年 3月 「令和2年度地方創生に資する金融機関等の『特徴的な取組事例』」に認定され内閣府特命担当大臣より表彰状を受領
- 令和 3年10月 中小企業庁「M&A支援機関に係る登録制度」へ登録
- 令和 4年 3月 「大牟田柳川信用金庫SDGs宣言」を公表
- 令和 4年 4月 WEB完結ローンを導入
- 令和 5年 2月 「福岡県SDGs登録制度」へ登録